

37同会会員 各位

4/6(土)37 同会関東支部観桜会報告

昨日、非常に暖かい日差しのもと、**関東支部観桜会**を行いました。その様子をお送りします。下関から坂井さん、名古屋から来島さんが参加して下さいました。有難う！！

午前 11 時頃、JR 駒込駅に花見会参加予定の 10 名が集まりました。染井門が開放されていたので、同門から入りましたが、驚くことに、2 月 27 日の第 1 回事前偵察時にマンツーマンで説明していただいた藤田さん(写真右)がわざわざ待機して下さいました。同氏は我々の 2 歳上です。写真下左右の白い半袖シャツ姿の方がそうです。我々のほかに約 4 名の方が一緒に説明を受けながら歩きました。因みに、写真下右のマスクの女性は一般の方です。



写真上左の武田さんの背中に公園の境界をなす林が連なっていますが、以前はその向こうが濠になっていたそうです。同写真で少し伺えますが、南北に千里馬(馬場跡)という細い道が連なっており、この道はその名のとおり馬の調教を行った場所だそうです。

最初に芦辺茶屋跡に案内していただきました。岩崎家が建てた茶屋の跡だそうです。ここから眺める渡月橋の景色(写真右)は最高です。

宜春亭(ぎしゅんてい)という茶室と心泉亭(しんせんてい)という集会所も岩崎家が建てたものかどうかを藤田さんに伺いましたら、名前を忘れましたが、それぞれ別の方の持ち物だったものを六義園内に移築したのだそうです。

写真右は玉藻磯からの風景です。空際線上に建物は見えずいい景色です。先ほどの千里場の東側の林は、隣接するマンションの目隠しになっていますが、藤田さんの説明によると、現在マンションのある場所は都有地でしたが、商業地を都が保有するのは適切ではないと民間に払い下げたそうです。





岩崎家が六義園を譲り受けた際は、公園の維持管理費用を捻出するために隣接する土地も同時に譲り受け、その土地から収益を得ていたそうです。

滝見茶屋に来ましたら、庭にカワセミ(翡翠)がいました(写真下左右)。漢字名のとおり美しい鳥でした。実にラッキーでした。



次いで吹上茶屋傍の染井吉野を観賞しました(写真下左)。見事に咲いており幹も太いのですが、樹齢は70~80年だそうです。次につつじ茶屋(写真下右)に行きました。これは岩崎家が残したものです。藤田さんが触れているのは、躑躅(つつじ)の木の柱です。躑躅の木は成長が遅いため、柱になるような材料を集めることができず、他の柱は百日紅(さるすべり)の木を使用しているそうです。東関東大震災で壁が傷んだそうですが、我が国では、同じ材料を使用し、同じ工法を採れば文化財を修復していいのですが、ギリシャなどでは、壊れても修復してはいけないとのことでした。



写真右は、説明を聞いている池田さん、来島さん、倉田さん、小西さん、坂井さん、武田さん、久田さん、増田さん、吉川さんらです。後方は、山手線内で二番目に高い藤代峠(標高35m)です。一番は新宿区の箱根山(44.6m)だそうです、いずれも人工の山です。後者は尾張徳川家の庭園だったそうです。因みに自然の山で山手線内の最高峰は愛宕山(25.7m)です。

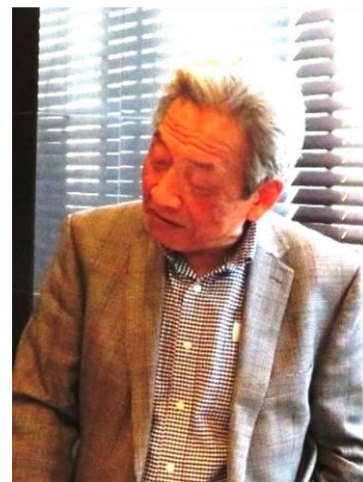
藤田さん、たいへんお世話になりました！！





**JR 駒込駅**から山手線に乗り、**JR 巣鴨駅**前の**泰平飯店**に13時前に着きましたら、**岡田さん**が待っていました。**長岡支部長**が、前日、義理のお姉さんの緊急入院で下関に帰られたので、**吉川顧問**の乾杯の音頭から始まりました(写真右)。かなり暑くて喉がカラカラになっていましたので、ビールの美味かったこと、この上ありませんでした。

その後、吉川さんから時計回りに近況報告を行いました。





吉川顧問が、高校の後輩の社長就任セレモニー参加のため、写真下左を撮ったのちに中座されました。

予定の 15 時近くなりましたので、久田副支部長の締めの乾杯でお開きとなりました(写真下右)。



最後に集合写真を撮りました(写真下左)。岡田さんが、職場を退かれ東京から大阪に移住されるそうです。お店の前で 1 枚撮らせていただきました(写真下右)。これからも、できるだけ関東支部の会合に参加していただきたいものです。とにかくお元気で！！





写真右の8名で巢鴨地藏通り商店街の散策をしました。最初に「江戸六地藏尊眞性寺(しんしょうじ)」の説明をしようと思いましたが、全員が知らん顔をして通り過ぎました。当寺には高さ2.68m、蓮花台を含めると3.45mの唐銅製の地藏尊(正徳4(1714)年製)が鎮座しています。

止むを得ず、「とげぬき地藏尊 高岩寺(こうがんじ)」まで行き、集合写真を撮りました(写真右)。

折り返し地点の「猿田彦大神 庚申堂(こうしんどう)」に着きました(写真下左)。

ただし、この写真を見ると、私を含めて6名しかいません。そのほかの人は帰ったのかなと思いながら帰路を辿りますと、巢鴨郵便局前に、庚申塚まで来なかった久田老人、増田老人、武田老人が坐っていました(写真下右)。



赤パンツのマルジ(写真下左)まで戻ってきたら、義永さんが久田さんに教えてくれたという「令和」の赤いブリーフが店頭には並べられていました(写真下右)。小西さんが早速買ったのですが、トランクスだったので、「令和」の刺繍はありませんでした。残念！！

実に楽しい観桜会でした。総会兼忘年会は、11月16日(土)に鎌倉で行いたいと思いますので、



よろしくお  
願いしま  
す。

(終わり)